



第 37 回全国育樹祭協賛記念行事

第 6 回熊高の森育樹祭

平成 25 年 11 月 4 日 (月・祝)



熊高森づくりの会

熊谷市大原 1-9-1
埼玉県立熊谷高等学校同窓会事務局内

協賛：有限会社角仲林業、株式会社オリケイ、滝澤酒造株式会社、権田酒造株式会社

旧制熊谷中学校校歌 作詞 平岡専太郎

- 1 谷間の流れ落ち合ひて 荒川水の広きごと
学びの道をたどりつつ 国の栄を図らばや
- 2 千本の若木生いたちて 堤に花の匂ふごと
大和心を鍛へつつ 君の御為に尽くさばや

熊谷高校校歌 作詞 石坂養平／作曲 山田耕筈

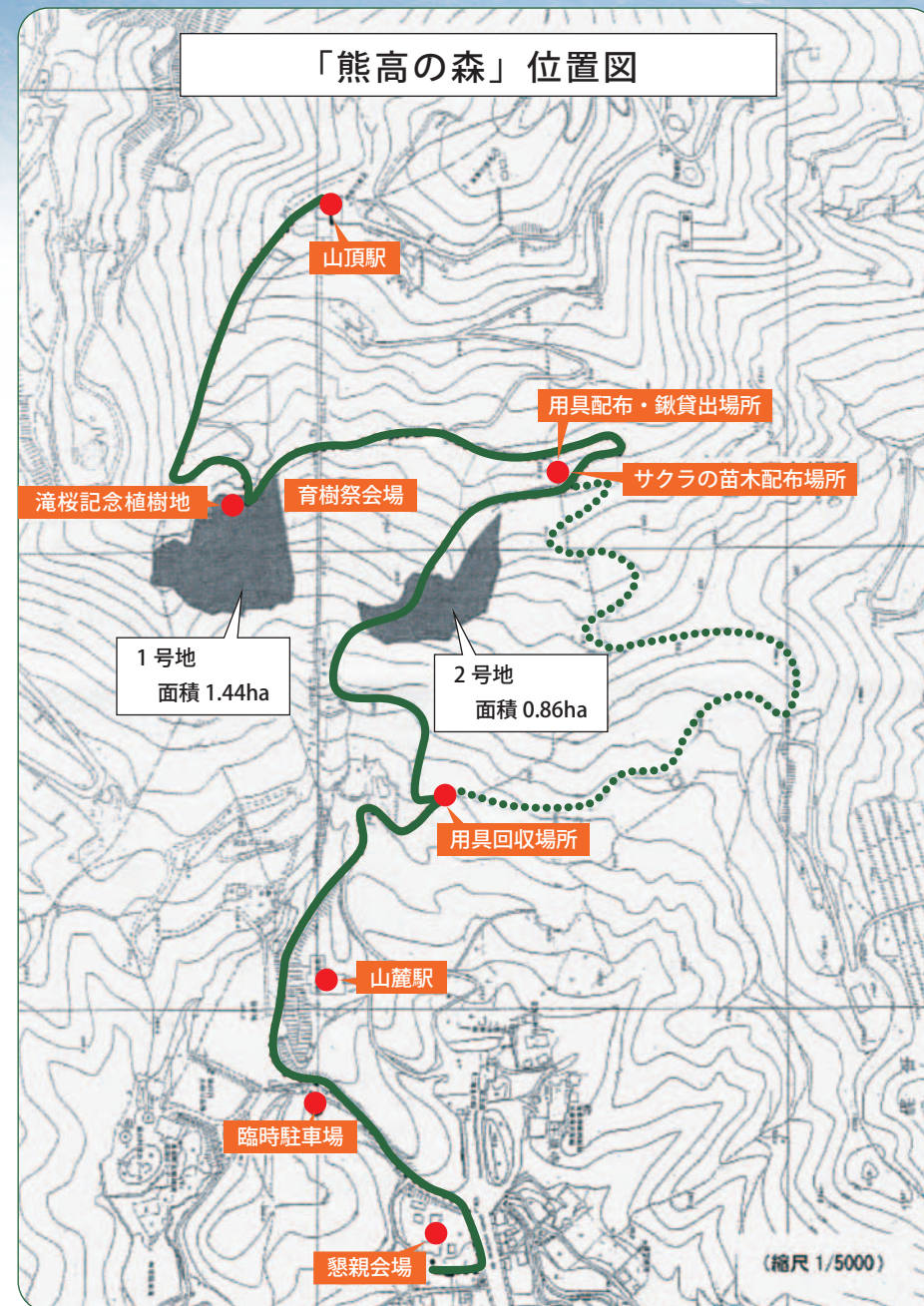
- 1 雲むらさきの 武蔵野に 高くそびゆる 赤いらか
燃ゆる希望 抱きつつ 自治に集える 千有余
ああ 熊高 熊谷高校 ああ 熊高 我らが母校
- 2 学びの道は 易からず 真理の奥は 幽くとも
精気溢るる 若人の 究め尽さで やむべきや
ああ 熊高 熊谷高校 ああ 熊高 我らが母校
- 3 春熊堤の 花をめで 自然の泉 汲み交し
秋林間に 想を練り にごりにそまず 心澄む
ああ 熊高 熊谷高校 ああ 熊高 我らが母校
- 4 巡りめぐりて 荒川の 大海原に そそぐごと
師弟苦楽を 分ちあい 愛の潮に 漕ぎ出でん
ああ 熊高 熊谷高校 ああ 熊高 我らが母校

熊高の森育樹祭日程

- 期 日 平成 25 年 11 月 4 日 (月・祝)
- 受付開始 10 時 00 分～
〈宝登山ロープウェイ山麓駅前〉
- 式典次第 10 時 30 分～12 時 00 分
〈熊高の森会場〉
- 開式
 - 主催者あいさつ
 - 来賓紹介
 - 生徒代表メッセージ
 - 森づくり活動の諸注意
 - エール・校歌斉唱
 - 記念植樹・一般植樹・下刈り等
- 懇親会 (芋煮会) 12 時 30 分～14 時 30 分
〈有隣倶楽部〉
- 開式
 - 来賓あいさつ
 - 乾杯
 - 歓迎のあいさつ
 - 歓談
 - 校歌斉唱
 - お礼の言葉



熊高の森育樹祭 MAP



植樹予定サクラ



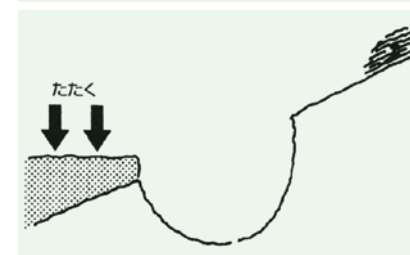
①滝桜 (たきざくら) ※竹下景子氏寄贈		②熊谷桜 (くまがいざくら) ※福島宗淑氏寄贈		③オカメ (おかめ)	
④十月桜 (じゅうがつざくら)	⑤修善寺寒桜 (しゅぜんじかんざくら)	⑥冬桜 (ふゆざくら)	⑦アーコレード (あーこれーど)		
⑧寒桜 (かんざくら)	⑨御車返し (みくるまがえし)	⑩兼六園菊桜 (けんろくえんきざくら)	⑪小彼岸 (こひがん)		
⑫小松乙女 (こまつおとめ)	⑬神代曙 (じんだいあけぼの)	⑭大寒桜 (おおかんざくら)	⑮大漁桜 (たいりょうざくら)		
⑯手弱女 (たおやめ)	⑰奈良の八重桜 (ならのやえざくら)	⑱紅笠 (べにがさ)	⑲紅枝垂 (べにしだれ)		
⑳紅華 (こうか)	㉑八重紅枝垂 (やえべにしだれ)	㉒花笠 (はながさ)	㉓仙台屋 (せんだいや)		
㉔河津桜 (かわづざくら)	㉕思川 (おもいがわ)	㉖越の彼岸 (こしのひがん)	㉗陽光 (ようこう)		

斜面の植樹方法

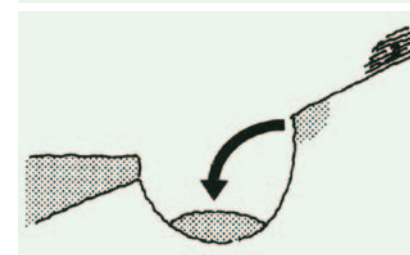
- 地被物（土の上にある落ち葉など）を、土が見えるところまで取り除きます。
 - 植える場所に円形の穴を掘ります。大きさは、直径50～60cm程度。
 - 掘った土は、穴の下側に盛ります。



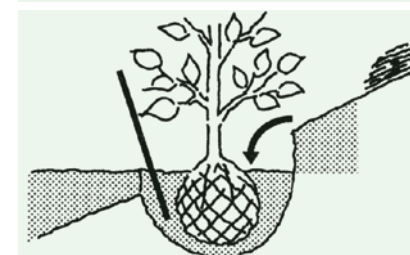
- 穴を掘った土をたたき、平らな台をつくります。



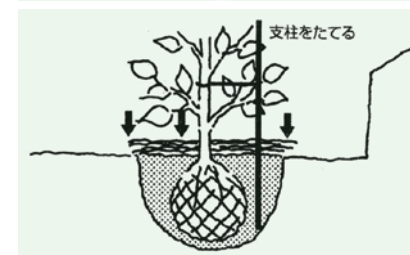
- 穴の中に、土を少し戻します。土は盛り上がるようにします。



- 苗木を入れ、穴の上半分の土をくずして、穴の半分ほどまで土を入れます。落ち葉などが入らないように注意してください。
 - 苗木の幹の上の方を持って、左右に小さく揺すりながら、植え込みの深さを調節します。
 - 土を棒でついて、根の間に土がなじむようにします。



- 苗木の外側から中心に向かって足で踏み固め、地被物を敷きます。



下刈り作業について

●下刈りの必要性

- (1) 雑草により、苗木は陽光を遮られたり、土の中の養分を奪われたり、蔓が巻き付くと枝葉を伸ばすことができなくなります。
- (2) 刈り払った雑草は、そのまま置いておきます。それは、地表を覆って水分の蒸発を押さえ、雑草が伸びるのを抑え、雑草自体が土に帰って栄養分になるからです。

●下刈りの方法

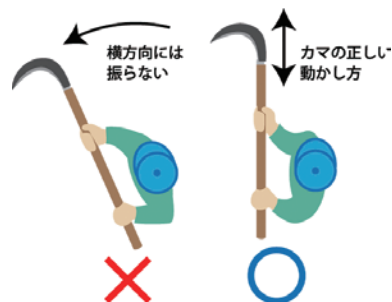
- ・全刈り（ぜんがり）・・・全面を刈る方法。
- ・坪刈り（つぼがり）・・・植栽木の周囲を丸く刈る方法。（周囲 1 m 四方）
- ・筋刈り（すじがり）・・・植栽の列に沿って列状に刈る方法。

●作業の手順

- (1) 斜面の下方から上方に刈り進みます。（植栽木が見やすく、安全に作業ができるため。）
- (2) 足場を安定させます。谷足に重心をかけて作業します。

●鎌（かま）の使い方

- (1) 鎌の刃先が左側にくるように柄の下方を持ちます
- (2) 刃先を右前方から左後方に引いて、腕全体で鎌の柄を動かします。（鎌は必要以上に大きく振ったり横方向には振ったりしてはいけません）
- (3) 太い草など刈り払いにくいものを切るときは、刃の柄に近い部分の草を根本に当て、斜め刃の先端にスライドさせるよう斜め後ろ上方に引くと切りやすくなります。
- (4) 鎌は堅い木を切る道具ではないので、直径の大きな雑木や堅いものを切るときには斧（おの）や鉋（なた）などを使用しましょう。



●注意事項

- (1) 鎌の刃の取り付けがゆるんでいないか確認する。
- (2) 間違って、植えてある木は刈らないように注意する。特に広葉樹の場合は注意を要します。
- (3) 複数の人で作業する場合は、お互いの鎌が触れ合う距離に近づかないようにしましょう。
- (4) 複数で作業する場合は、斜面の上下で並ばないようにしましょう。
- (5) 鎌を使わないときは必ず刃にカバーをしましょう。

森づくり活動の注意点

- 作業前には、準備体操を十分に行いましょう。
- 作業中は、必ず軍手をつけましょう。
- 足場を確認して、安定した姿勢で作業しましょう。
- スコップや唐鍬などの用具は数人で融通しあって使いましょう。
- スコップや唐鍬などの用具を使うときは、他の人と十分な距離を確保しましょう。
- スコップや唐鍬などの用具をむやみに振り回すのはやめましょう。
- 作業をしている人に近づくときは、必ず声をかけあいましょう。
- 無理をせず、疲れたらすぐに休みましょう。
- 万一、けがをしたときはスタッフにすぐにお知らせください。参加した OB の中に医師がいます。
- 急傾斜地（A 区域、B 区域）で森づくり活動を行う場合は必ずヘルメットを着用してください。上で作業を行っている人の下で作業を行うのは落石などがあり危険です。上下作業の禁止を徹底しましょう。
- 木札書用として貸し出されたマジックインクはスタッフに必ず返しましょう。

